

# 英国南部旅行(1999)

その9：チチェスターからアッシュフォードへ

7月27日(火)

グッドウッドパークホテルをチェックアウトしてA27でベッディングガム(Beddingham)へ進み、そこからA26を南下ニューヘブン(Newhaven)へそこからA259をイーストボーン(Eastbourne)方向へ進み、途中から地方道に入りビーチヘッド(Beachy Head)に立ち寄った。次にイーストボーン(イーストボーン)の市街地、更にヘイスティングス(Hastings)とライ(Ray)を通過してウインチェルシー(Winchelsea)で昼食、ボーディアン城を見て、3泊予定のアッシュフォードへ行くルート(下図の緑色の線)が今日の予定である。



上左の写真はグッドウッドパークホテルの玄関である。上右の写真はホテルに併設されているゴルフコースのスタート地点である。3泊したホテルを後にして一挙にビーチヘッド

ドまで移動した。左下の写真は観光ガイドブックからコピーしたもので白い断崖が美しい（5 kmにわたり Seven Sisters と呼ばれている）。右下の写真はその先端にある灯台付近の写真である。崖には安全策が何もなく海に転落しても訪問者の自己責任である。訪問した当日は風が強く舗装した歩道を慎重に歩いた。ドーバー(Dover)白い崖（ホワイトクリフ）と景観が同じで地質が同じであると思われる。ビーチヘッドからイーストボーンの町ま



ではすぐであった。町を一巡りした後、中央の駐車場に車を駐車して歩いて鉄道の駅まで行ってみた。ロンドンからの鉄道の終着駅であるが非常に簡素な駅であった（下の写真）。



次の目的地はウインチェルシーである。かなり急な坂道を登った丘の上の静かな村である。イギリスを代表する画家ターナーが最も多く画いた村という。左下の写真は中心にある教会で敷地の中にエリザベス女王の記念植樹があった。右下の写真は教会の前のレストラン



であると言ってもお店らしいものはそこしかなかった。唯一のレストランで簡単な食事をした。他には小さな博物館（個人の家）があるだけであった。食後、北方向とは別の急な坂道を下りライの町を通過してボーディアン城へ向かった。



ボーディアン城は英国の 300 年の城設計を結集した城である。英仏 100 年戦争(1337 - 1453)の時、サセックスの騎士 **Dalyngrigge** 卿が要塞と住居の目的で建設されたのが 1388 年でした。この城はその後 250 年間も健在でした。しかし、内戦(1640-1648)で内部が破壊されました。1916 年カーゾン卿が城を購入し、建設時の外形に修復し、城を残した。内部は何もなく廃墟であるが、おとぎの国に来た感じがした。



左の写真はアッシュフォード・インターナショナル・ホテル( **Ashford International Hotel**)のロビーである。